

『未来の学術振興構想』の策定に向けた『学術の中長期研究戦略』の募集について

2022年6月30日付で、日本学術会議科学者委員会学術研究振興分科会より、表記タイトルの公募(<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/25koubo.html>)が出されました。

これまで日本学術会議では、学術的に意義の高い大型研究計画を広く網羅的に体系化する「**マスタープラン**」を期毎に策定し、我が国の学術の強化・発展に寄与してきました。しかし、社会環境の変化や、学術会議の役割である社会的助言機能の強化に関して新たな仕組みに移行しつつある状況や、学際的な取り組みが不十分であること等の理由によって、「**マスタープラン**」ではなく、新たに「**未来の学術振興構想**」を策定することとなりました。両者の大きな違いは、マスタープランは、提案された個々のプランを列記するのみでしたが、この度の「**未来の学術振興構想**」は、複数の提案の関連を検討して分類・グループ化する点にあります。

「**未来の学術振興構想**」では、今後、20～30年頃まで先を見通した学術振興の「**グランドビジョン**」を提示するとともに、それぞれの「**グランドビジョン**」について、その実現の観点から必要となる「学術研究構想」（研究計画）を示すことを目指しています。

こうした「**グランドビジョン**」や「学術研究構想」をとりまとめていくためには、広く科学者コミュニティから積極的な提案がされることが不可欠です。そのために、「**学術の中長期研究戦略**」が公募されましたので、社員学会の皆様にも是非お目通し頂きたく、お知らせを致します。

応募された提案「**学術の中長期研究戦略**」は、日本学術会議科学者委員会の学術研究振興分科会等において一定の絞り込みを行った上で、分類・グループ化し、最終的に、20～30程度の「**グランドビジョン**」と、その実現に必要な「学術研究構想」のリストとして取りまとめ、公表する予定とのことです。

策定された「**未来の学術振興構想**」の公表は、広く社会に向けて行われるのと共に、国の行政機関へも提案され、各省庁によって参照頂くことが期待されております。社員学会の皆様におきましても、研究者の意思を示す貴重な機会とご理解いただき、ご提案の検討をよろしく願います。

なお、提案者、公募期間は、以下の通りとなっております。

1. 提案者

- (i) 研究・教育機関の長又は部局長（国公立大学、大学共同利用機関法人、研究開発法人）
- (ii) 学協会長
- (iii) 日本学術会議の会員及び連携会員
- (iv) 若手研究者（令和5年3月31日の時点で満45歳以下の者であって、所属部局長の承認を得て、かつ、日本学術会議の会員又は連携会員3名以上（会員1名を含むこと）の推薦がある者に限る。）

2. 公募期間

令和4年6月30日（木）～令和4年12月16日（金）

本公募については、日本学術会議のフォーム(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0189.html>)

から質問等が可能ですが、「公募要領」のみでは分かりにくい内容も多いと思います。

日本看護系学会協議会におきましては、本公募のご質問を受け、社員学会の皆様の提案を支援したく思います。確認事項等がございましたら、以下までお問い合わせお願いいたします。

なお、問い合わせは随時受け付けますが、意向表明〆切前の10月15日を〆切と致します。

日本看護系学会協議会

日本学術会議・学協会との連携担当理事

西村ユミ

○問い合わせ先：JANA 事務局 maf-jana@mynavi.jp